

卷末資料

アンケート調査票

I. 貴校について、お伺いたします。

【1】各学部の設置有無、入学定員、在籍の生徒数（2018年12月現在）をお答えください。

※設置していない学部については空欄のままで結構です。

学部	小学部	中学部	高等部（本科）
入学定員	人	人	人
学部全体の生徒数	人	人	人

【2】各学部の教員の人数をお答えください。他学部と兼任されている場合は、その人数もお答えください。※設置していない学部については空欄のままで結構です。

学部	小学部	中学部	高等部（本科）
教員の人数	人	人	人

【3】各学部の入学希望者の増減傾向（直近5年程度）について、当てはまるものをお選びください。※設置していない学部については空欄のままで結構です。

○小学部

- 1) 増えている 2) 横ばい(変わらない) 3) 減っている 4) どちらともいえない
5) その他(具体的に)

○中学部

- 1) 増えている 2) 横ばい(変わらない) 3) 減っている 4) どちらともいえない
5) その他(具体的に)

○高等部（本科）

- 1) 増えている 2) 横ばい(変わらない) 3) 減っている 4) どちらともいえない
5) その他(具体的に)

Ⅱ. 貴校の高等部【本科】について、お伺いたします。

【1】設置している学科をお選びください。職業学科を設置している場合には、学科名・修業年限・めざす職業（職種）をお答えください。

- 1) 普通科 2) 職業学科

職業学科の学科名	修業年限	めざす職業（職種）
	年	

【2】出願者について、お伺します。出願者のうち「出願前に教育相談・面談」を受ける方のおおよその比率として当てはまるものをお選びください。

- 1) 全員（100%） 2) 90%程度 3) 70～80%程度 4) 50～60%程度
5) 50%未満 6) その他（具体的に ）

【3】志願者に対する選考方法として、当てはまるものすべてをお選びください。

- 1) 中学部の調査書 2) 運動能力検査 3) 学力検査
4) 面接（生徒本人） 5) 面接（生徒の保護者）
6) その他（具体的に ）

【4】貴校では、企業等で生徒が職業を体験・学習する「職場実習」を実施していますか。実施している場合には、年間の実施回数、1回あたりの実施期間、実習先となる企業等の業種をお答えください。

- 1) 全員を対象に実施している
2) 希望者を対象に実施している
3) 実施していない
4) その他（ ）

●実施回数・期間

	1年	2年	3年
実施回数／年	回	回	回
実施期間／回	日間	日間	日間

●実習先となる企業の業種（複数回答）

- 1) 農業・林業・漁業 2) 建設業 3) 製造業 4) 卸売業 5) 小売業
6) 宿泊業 7) 飲食業 8) 医療・福祉 9) 生活関連サービス業
10) その他（ ）

【5】貴校の教育課程のうち、上記設問の「職場実習」以外で、職業理解や職業生活に必要な事柄の学習を主たる目的とする教科について、その教科名、主な実施内容、学年別年間授業時数（単位時間）をお答えください。

※差し支えなければ、『履修要綱』等、当該教科の内容に関する資料のコピーを同封して頂きますと幸甚です。（※その場合には以下の記入はして頂く必要はございません）

教科名	授業時数と主な活動内容
	授業時数：1年（ ）2年（ ）3年（ ）
	授業時数：1年（ ）2年（ ）3年（ ）
	授業時数：1年（ ）2年（ ）3年（ ）

【6】卒業生の進路について、進路別の人数（直近3年間）をお答えください。

進路	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)
一般企業	人	人	人
施設（通所）	人	人	人
施設（入所）	人	人	人
進学（専攻科）	人	人	人
進学（大学・短期大学）	人	人	人
進学（専門学校・各種学校）	人	人	人
在宅	人	人	人
その他	人	人	人

Ⅲ. 高等部卒業後の「進学」に関するお考えについて、お伺いいたします。

【1】高等部（本科）卒業後の「進学」について、お伺いします。

①高等部（本科）卒業後の進学先は必要だと思いますか。

- 1) そう思う 2) ややそう思う 3) あまりそう思わない 4) そう思わない
5) どちらともいえない
6) その他 ()

②上記設問で「そう思う」「ややそう思う」と回答された方にお伺いします。

進学先として望ましいと思う教育機関・訓練施設をすべてお選びください。

- 1) 専攻科 2) 大学・短期大学 3) 専門学校・各種学校 4) 職業能力開発校
5) 学びの作業所 6) その他 ()

【2】卒業後も「引き続き学びたい」「進学したい」と考える生徒（卒業年次生）はいますか。

「いる」場合、例年の平均として、おおよそ何名くらいですか。

- 1) いる → () 名くらい
2) いない・ほとんどいない
3) わからない
4) その他(具体的に) ()

【3】卒業後に「進学させたい」と考える（卒業年次生の）保護者はいますか。「いる」場合、例年の平均として、おおよそ何名くらいですか。

- 1) いる → () 名くらい
2) いない・ほとんどいない
3) わからない
4) その他(具体的に) ()

【4】(卒業の進学を仮定したとき) 進学の妨げと考えられる要因について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 1) 進学先（の候補となる学校等）が少ない・ない
2) 生徒の学力や能力が不足している
3) 保護者が進学に対して積極的でない
4) 生徒の家庭の経済的な事情
5) その他(具体的に) ()

【5】特別支援学校高等部卒業後の進路としての専門学校において、重視してほしい教育をお選びください。(複数回答)

- 1) 資格の取得 2) 実務的な知識や技能の習得
- 3) 職場・企業と連携したデュアル教育 4) 就職後の職場定着サポート・指導
- 5) 卒業後の学び直し支援
- 6) 社会生活・地域生活のための知識・技能の習得
- 7) 日常生活のための知識・技能等の習得
- 8) その他(具体的に _____)

【5】高等部卒業後の進路としての専門学校に対する要望・意見等をお聞かせください。

※差し支えなければ、以下の事項へのご回答をお願いいたします。調査結果がまとまり次第、ご報告申し上げます。

貴校名		
ご住所	〒	
ご回答者	お名前	
	所属・役職	
電話番号		
eメール		

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

アンケート調査票

I. 貴校について、お伺いいたします。

【1】各学部の設置有無、入学定員、在籍の生徒数（2018年12月現在）をお答えください。

※設置していない学部については空欄のままで結構です。

学部	小学部	中学部	高等部（本科）	高等部（専攻科）
入学定員	人	人	人	人
学部全体の生徒数	人	人	人	人

【2】各学部の教員の人数をお答えください。他学部と兼任されている場合は、その人数も

お答えください。※設置していない学部については空欄のままで結構です。

学部	小学部	中学部	高等部（本科）	高等部（専攻科）
教員の人数	人	人	人	人

【3】各学部の入学希望者の増減傾向（直近5年程度）について、当てはまるものをお選びください。※設置していない学部については空欄のままで結構です。

○小学部

- 1) 増えている 2) 横ばい(変わらない) 3) 減っている 4) どちらともいえない
5) その他(具体的に)

○中学部

- 1) 増えている 2) 横ばい(変わらない) 3) 減っている 4) どちらともいえない
5) その他(具体的に)

○高等部（本科）

- 1) 増えている 2) 横ばい(変わらない) 3) 減っている 4) どちらともいえない
5) その他(具体的に)

○高等部（専攻科）

- 1) 増えている 2) 横ばい(変わらない) 3) 減っている 4) どちらともいえない
5) その他(具体的に)

Ⅱ. 貴校の高等部【本科】について、お伺いたします。

【1】設置している学科をお選びください。職業学科を設置している場合には、学科名・修業年限・めざす職業（職種）をお答えください。

- 1) 普通科 2) 職業学科

職業学科の学科名	修業年限	めざす職業（職種）
	年	

【2】出願者について、お伺いします。出願者のうち「出願前に教育相談・面談」を受ける方のおおよその比率として当てはまるものをお選びください。

- 1) 全員（100%） 2) 90%程度 3) 70～80%程度 4) 50～60%程度
5) 50%未満 6) その他（具体的に ）

【3】志願者に対する選考方法として、当てはまるものすべてをお選びください。

- 1) 中学部の調査書 2) 運動能力検査 3) 学力検査
4) 面接（生徒本人） 5) 面接（生徒の保護者）
6) その他（具体的に ）

【4】貴校では、企業等で生徒が職業を体験・学習する「職場実習」を実施していますか。実施している場合には、年間の実施回数、1回あたりの実施期間、実習先となる企業等の業種をお答えください。

- 1) 全員を対象に実施している
2) 希望者を対象に実施している
3) 実施していない
4) その他（ ）

●実施回数・期間

	1年	2年	3年
実施回数／年	回	回	回
実施期間／回	日間	日間	日間

●実習先となる企業の業種（複数回答）

- 1) 農業・林業・漁業 2) 建設業 3) 製造業 4) 卸売業 5) 小売業
6) 宿泊業 7) 飲食業 8) 医療・福祉 9) 生活関連サービス業
10) その他（ ）

【5】貴校の教育課程のうち、上記設問の「職場実習」以外で、職業理解や職業生活に必要な事柄の学習を主たる目的とする教科について、その教科名、主な実施内容、学年別年間授業時数（単位時間）をお答えください。

※差し支えなければ、『履修要綱』等、当該教科の内容に関する資料のコピーを同封して頂きますと幸甚です。（※その場合には以下の記入はして頂く必要はございません）

教科名	授業時数と主な活動内容
	授業時数：1年（ ）2年（ ）3年（ ）
	授業時数：1年（ ）2年（ ）3年（ ）
	授業時数：1年（ ）2年（ ）3年（ ）

【6】卒業生の進路について、進路別の人数（直近3年間）をお答えください。

進路	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)
一般企業	人	人	人
施設（通所）	人	人	人
施設（入所）	人	人	人
進学（専攻科）	人	人	人
進学（大学・短期大学）	人	人	人
進学（専門学校・各種学校）	人	人	人
在宅	人	人	人
その他	人	人	人

Ⅲ. 貴校の高等部【専攻科】について、お伺いたします。

【1】職業理解や職業生活に必要な事柄の学習を主たる目的とする教科について、その教科名、主な実施内容、学年別年間授業時数（単位時間）をお答えください。

※差し支えなければ、『履修要綱』等、当該教科の内容に関する資料のコピーを同封して頂きますと幸甚です。（※その場合には以下の記入はして頂く必要はございません）

教科名	授業時数と主な活動内容
	授業時数：1年（ ）2年（ ）
	授業時数：1年（ ）2年（ ）
	授業時数：1年（ ）2年（ ）

【2】卒業生の進路について、進路別の人数（直近3年間）をお答えください。

進路	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)
一般企業	人	人	人
施設（通所）	人	人	人
施設（入所）	人	人	人
進学（大学・短期大学）	人	人	人
進学（専門学校・各種学校）	人	人	人
在宅	人	人	人
その他	人	人	人

IV. 高等部卒業後の「進学」に関するお考えについて、お伺いたします。

【1】卒業後も「引き続き学びたい」「進学したい」と考える生徒（卒業年次生）は、例年の平均として、おおよそ何名くらいですか。

- 本科生（ ）名くらい
- 専攻科生（ ）名くらい

【2】卒業後に「進学させたい」と考える（卒業年次生の）保護者は例年の平均として、おおよそ何名くらいですか。

- 本科生の保護者（ ）名くらい
- 専攻科生の保護者（ ）名くらい

【3】（卒業の進学を仮定したとき）進学の妨げと考えられる要因について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 1) 進学先（の候補となる学校等）が少ない・ない
- 2) 生徒の学力や能力が不足している
- 3) 保護者が進学に対して積極的でない
- 4) 生徒の家庭の経済的な事情
- 5) その他（具体的に _____）

【4】特別支援学校高等部卒業後の進路としての専門学校において、重視してほしい教育をお選びください。（複数回答）

- 1) 資格の取得
- 2) 実務的な知識や技能の習得
- 3) 職場・企業と連携したデュアル教育
- 4) 就職後の職場定着サポート・指導
- 5) 卒業後の学び直し支援
- 6) 社会生活・地域生活のための知識・技能の習得
- 7) 日常生活のための知識・技能等の習得
- 8) その他（具体的に _____）

【5】高等部卒業後の進路としての専門学校に対する要望・意見等をお聞かせください。

(_____)

※差し支えなければ、以下の事項へのご回答をお願いいたします。調査結果がまとまり次第、ご報告申し上げます。

貴校名		
ご住所	〒	
ご回答者	お名前	
	所属・役職	
電話番号		
eメール		

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

【6】教材費や課外活動その他一切を含んだ1年間の平均的な負担金額をお答えください。

※該当しない学年については空欄のままです。

学年	1年	2年	3年	4年
負担金額 (概算)	約 円	約 円	約 円	約 円

II. 貴事業所のカリキュラム等について、お伺いたします。

【1】1日の開始時刻、終了時刻をお答えください。

開始時刻	時 分	※曜日により異なる場合等はここに記載してください。
終了時刻	時 分	

【2】訓練（授業）時間割の1コマあたりの時間数をお答えください。教科等に応じて複数の設定がある場合には、該当するものをすべてお選びください。（複数回答可）

1)30分 2)45分 3)50分 4)60分 5)その他[]

【3】訓練（授業）の領域を以下の表にしめす5つの領域に区分したとき、標準的な1週間の訓練時間数の大まかな構成比（%）をお答えください。

訓練の領域	内容	構成比
①暮らす（生活）	人々とかかわり合いをもち、社会・地域での生活や家庭生活を豊かにすることを目的とする訓練や活動	%
②働く（就労）	働くことへの理解や職場体験、仕事実習、自己理解など職業生活を豊かにすることを目的とする訓練・活動	%
③学ぶ（教養）	国語や英語、美術、情報などの教科別の学習や、その他社会人・職業人として必要な教養を身につけることも目的とする訓練・活動	%
④楽しむ （運動・余暇）	生涯スポーツや遊び、屋外活動、芸術鑑賞など余暇を楽しみ日常生活を豊かにすることを目的とする訓練・活動	%
⑤その他	上記の①～④に分類することが難しい訓練・活動	%
合計		100 %

【4】貴事業所で実施している、他の教育機関や施設等と連携した訓練・活動として、当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- 1) 特別支援学校からの出張授業 (講師派遣)
- 2) 大学・専門学校からの出張授業 (講師派遣)
- 3) 大学・専門学校の授業への参加 (オープンカレッジ的な授業参加)
- 4) 企業等での職場見学・職場体験
- 5) 企業等での実習と連携した学内教育 (デュアルシステム)
- 6) 企業や大学等、外部機関と連携したカリキュラム開発や教材開発
- 7) 企業や大学等、外部機関と連携した授業研究
- 8) その他 [具体的に

]

【5】貴事業所の訓練・活動で、特徴的な内容や方法等について、お答えください。

※例：資格取得の教育、グループ研究など指導法の導入、IT活用など

【6】卒業生の進路について、進路別の人数 (直近3年間) をお答えください。

※卒業生がいない年度については空欄のままで結構です。

進路	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)
一般企業	人	人	人
施設 (通所)	人	人	人
施設 (入所)	人	人	人
進学 (専攻科)	人	人	人
進学 (大学・短期大学)	人	人	人
進学 (専門学校・各種学校)	人	人	人
在宅	人	人	人
その他	人	人	人

Ⅲ. 「進学」に関するお考えについて、お伺いたします。

- 【1】 特別支援学校高等部（本科）卒業後の「進学先」について、お伺いします。
進学先の現状に対する見方として、当てはまるものをお選びください。
- 1) 進学希望者に対して非常に少なく、今後増やしていくべきだ
 - 2) 進学希望者をほぼ受け入れられており、現状維持が望ましい
 - 3) 進学先が近年増えており、現状維持か減らしていくのが望ましい
 - 4) その他〔具体的に〕
- 【2】 貴事業所の卒業後も「引き続き学びたい」「進学したい」と考える生徒（卒業年次生）はいますか。「いる」場合、例年の平均として、おおよそ何名くらいですか。
- 1) いる → [] 名くらい
 - 2) いない・ほとんどいない
 - 3) わからない
 - 4) その他〔具体的に〕
- 【3】 貴事業所の卒業後に「引き続き学ばせたい」「進学させたい」と考える（卒業年次生の）保護者はいますか。「いる」場合、例年の平均として、おおよそ何名くらいですか。
- 1) いる → [] 名くらい
 - 2) いない・ほとんどいない
 - 3) わからない
 - 4) その他〔具体的に〕
- 【4】（卒業の進学を仮定したとき）進学の妨げと考えられる要因について、当てはまるものをすべてお選びください。（複数回答可）
- 1) 進学先（の候補となる学校等）が少ない・ない
 - 2) 生徒の学力や能力が不足している
 - 3) 保護者が進学に対して積極的でない
 - 4) 生徒の家庭の経済的な事情
 - 5) その他〔具体的に〕
- 【5】 貴事業所卒業後の進路としての専門学校において、重視してほしい教育をお選びください。（複数回答可）
- 1) 資格の取得
 - 2) 実務的な知識や技能の習得
 - 3) 職場・企業と連携したデュアル教育
 - 4) 就職後の職場定着サポート・指導
 - 5) 卒業後の学び直し支援
 - 6) 社会生活・地域生活のための知識・技能の習得
 - 7) 日常生活のための知識・技能等の習得
 - 8) その他〔具体的に〕

【6】特別支援学校高等部・学びの作業所卒業後の進路としての専門学校に対する要望・意見等をお聞かせください。

--

※差し支えなければ、以下の事項へのご回答をお願いいたします。調査結果がまとまり次第、ご報告申し上げます。

貴事業所名		
ご住所	〒	
ご回答者	お名前	
	所属・役職	
電話番号		
eメール		

ご協力いただきまして、ありがとうございました。